



くまのみずき

回覧

茅ヶ崎市立北陽中学校 学校だより

第9号

令和 5 年度全国学力·学習状況調査 回答結果分析

【教科に関する分析】

国語

- ◎インタビューの前に質問事項をまとめたメモとして適切なものを選ぶ問題や、インタビューの結果をまとめる問題がよくできており、目的や場面に応じて自分の考えをまとめる力がついています。
- ◎歴史的仮名遣い「いひける」を現代仮名遣いに書き直す問題の正答率が高く、歴史的仮名遣いの読 み方についてはある程度身についています。

▲古典の原文と現代語の文章を対比させて内容を捉えることができるかをみる問題は、「いと」という 基本的な古語の意味がわからなかったために正解できなかった生徒が多いと予想されます。

▲「<u>おし</u>量って」という漢字を書く問題の正答率が全体で一番良くなかった。漢字や古語など基礎的な知識を定着させることが必要だと思われます。

数学

- ◎1961年~1975年の四分位範囲を求める問題において、四分位範囲の意味を理解し、問題を解くことができました。
- ◎「2006年~2020年の黄葉日は、1991年~2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する問題において、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができました。

▲図形領域の問題において、空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる問題の正答率がすべての問題の中で最もよくありませんでした。

▲関数や図形の証明問題の正答率が低かったので、言葉の意味を理解することや、これまでに学習した図形の特徴を復習していく必要があります。

英語

- ◎「『事実・情報を伝える』と『考えや意図を伝える』という言語の働きを理解し、事実と考えを区別 して読むことができるかどうかをみる問題」での正答率が高く、文章を正しく読み、把握することが できています。
- ◎「社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかをみる問題」での正答率が高く、分量が少なめの文章の読解ができています。
- ▲「社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる問題」での正答率が低く、自らの考えをまとめて書くことが課題であると考えられます。
- ▲「日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書く事ができるかどうかをみる問題」の正答率がよくありませんでした。自分の考えなどを3文以上のまとまりのある文章に書く活動を、継続的に指導する必要性があります。

- (40) 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか
- (41) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
- (42) 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか
- (43) 総合的な学習では、自分で課題を立てて情報を集めなおして、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
- (44) あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
- (45) 学級活動における学級での話合いを生かして、今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか
- (46) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか
- \bigcirc (36) \sim (46) は学校における学習活動に関する質問です。すべての質問に対して、肯定的な回答が全国平均より大きく上回っています。この結果を踏まえて、取り組んできたことを振り返りながら、今後も全教職員で校内研究・研修に取り組み、生徒が主体的に学ぶことができるように授業改善を推進していきたいと思います。
- (47) 国語の勉強は好きですか
- (48) 国語の勉強は大切だと思いますか
- (49) 国語の授業の内容はよく分かりますか
- (50) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- (51) 行書の基礎的な書き方(「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など)を理解して書いていますか
- (52) 国語の授業で、自分の考えをわかりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか
- (53) 国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか
- (54) 国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を 基にとらえていますか
- ○国語についての質問です。すべての質問に対して、肯定的な回答が全国平均を大きく超えています。 今までの取組みを振り返りながら、良かった点を活かしながら、今後も引き続き、授業改善に取り組 んでまいります。
- (55) 数学の勉強は好きですか
- (56) 数学の勉強は大切だと思いますか
- (57) 数学の授業の内容はよく分かりますか
- (58) 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- ○数学についての質問です。(55)では、約65%の生徒が肯定的な回答をしました。全国平均を超えた回答でした。(56)~(58)は数学の必要性に関する質問です。(56)の質問では、ほとんどの生徒が、肯定的な回答をしました。数学の大切さを実感している生徒が多いということがわかります。その一方で、(58)の質問では、約2割の生徒が「どちらかといえば当てはまらない・当てはまらない」と回答しており、数学の授業は大切だと理解していながらも、社会に出てから役に立つと実感していない生徒もいることがわかります。将来数学や数学的な考え方が役に立つ場面を授業で取り上げるなど、引き続き教料の担当で考えていかなければならないと思います。(57)の質問に対して約8割の生徒が肯定的な回答をしています。100%を目指して引き続き授業改善に取り組んでまいります。
- (59) 英語の勉強は好きですか
- (60) 英語の勉強は大切だと思いますか
- (61) 英語の授業の内容はよく分かりますか
- (62) 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- (63) 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか
- 〇英語の授業についての質問です。(59) や(61) は、肯定的な回答が、全国平均を大きく上回っています。(60) や(62) では、肯定的な回答が9割ほどとなっていますが、(63) では、約4割が肯定的な回答で、ほぼ全国平均と同じでした。

【生徒質問紙に関する分析】

- ※『肯定的な回答』とは、「あてはまる(している)」と「どちらかといえばあてはまる (している)」の回答の割合の合計を示しています。質問内容をピックアップして分析し ました。
- (1) 朝食を毎日食べていますか
- (2) 毎日, 同じくらいの時刻に寝ていますか
- (3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
- \bigcirc (1) \sim (3) は生活習慣についての質問です。「朝食を食べてくる」生徒の肯定的回答がほぼ100% に近い結果が出ています。「ほぼ同じ時間に寝る」は約80%、「ほぼ同じ時間に起きる」生徒が約90%で、全国平均とだいたい同じくらいですので、毎日規則正しく健康的な生活を送ることができていると考えられます。
- (4) 自分には、よいところがあると思いますか
- (5) 先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか
- (6) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えて くれていると思いますか
- (7) 将来の夢や目標を持っていますか
- (4) ~ (7) では、全国平均を大幅に上回る肯定的な回答でした。(6) は全国平均よりやや上回りました。今後も夢に向かって少しずつ努力しそれを認められることや、「やり遂げた」と思える成功体験を重ねることで、自己肯定感の向上を図っていきたいと思います。自分を大切にしながら、充実した学校生活を送っていることがうかがえます。
- (8) 人が困っているときは、進んで助けていますか
- (9) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- (10) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
- (11) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- ○肯定的な回答が、(10) は約70%,他の3質問は、いずれも95%前後となっています。生徒の大半が、困った人は助けるべきだと考え、いじめをいけないことと認識し、人の役に立ちたいと願っています。 今後もこの生徒の善良な心をさらに大切に育てていきたいと思います。
- (12) 学校に行くのは楽しいと思いますか
- (13) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
- (14) 友達関係に満足していますか
- (15) 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか
- ○全国平均を大きく上回る割合で、多くの生徒が楽しいと感じています。反面、楽しいと感じていない生徒もおります。学校に行くことを楽しいと感じられない生徒たちに、どのように寄り添っていくことが必要なのかを学校全体で考え、改善を図っていきたいと思います。肯定的な回答が、(13) ~ (15) の3質問共に、全国平均を大きく超えています。特に(15)「よくある」との回答が過半数を超
- えています。
- (16) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)
- (17) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
- (18) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
- (19) 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)
- \bigcirc (16) \sim (19) は家庭学習に関する質問です。 (16) では、肯定的な回答が約7割で、全国平均を大きく上回っています。 (17) では、「2時間以上3時間より少ない」と「1時間以上2時間より少ない」と「3時間以上」の3項目で8割を超えています。家庭学習を大切なものだととらえ、計画的に取り組んでいることがわかります。 (18) では、「2時間以上3時間より少ない」の割合が最も多く、次に「3時間

以上、4時間より少ない」の割合となっています。(17)、(18)で共通していることは全くやらない生徒が少なからずおり、勉強している生徒と勉強していない生徒の差が大きいことがうかがえます。

- (20) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)
- (21) 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館(それぞれ電子図書館を含む)にどれくらい行きますか
- (22) あなたの家には、およそどのくらい本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)
- (23) 新聞を読んでいますか
- (24) 読書は好きですか
- \bigcirc (20) \sim (24) は読書に関する質問です。 (20) では、「全くしない」の割合が最も多くなりました。 (21) では、「ほとんど、または、全く行かない」の割合が全国平均とほぼ同じでした。 (22) の蔵書数「101 \sim 200冊」が最も大きな割合でした。 (25) は新聞をほとんど読まない生徒が約75%でした。 (24) では、ほぼ 7 割の生徒が肯定的な回答をしています。
- (25) 学校の部活動に参加していますか
- (26) 普段 (月曜日から金曜日)、平均して何日学校の部活動に参加していますか
- (27) 学校の部活動で、普段(月曜日から金曜日)活動を行った日は、平均してどのくらいの時間、活動をしますか
- (28) 学校の部活動で、土曜日や日曜日など学校が休みの日に活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか
- \bigcirc (25) \sim (28) 部活動にかかわる質問です。(25) では、本校は約7割の生徒が部活動に加入しています。平日の活動日数は平均すると3.8日で、活動時間は「2時間以上、3時間より少ない」の割合が最も多くなっています。休日の活動時間では、「3時間以上、4時間より少ない」の割合が一番高くなっています。
- (29) 今住んでいる地域の行事に参加していますか
- (30) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
- (31) 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか
- (32) 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか
- \bigcirc (29) \sim (32) は地域に関する質問です。 (29) では、「どちらかといえば、当てはまらない」・「当てはまらない」の回答の割合は、合計約60%でした。 (30) では、約80%が肯定的な回答でした。地域の行事に参加したいのだけれど、中々参加できないという予想が成り立ちます。肯定的な回答は、(31)、
- (32) ともに約7割の割合でした。地域行事がたいへん盛んな地域だと思われることもあり、今後とも地域の行事が実施される場合には、積極的に参加を呼びかけていきたいと思います。
- (33) 1.2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
- (34) 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
- (35) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)
- ○PC・タブレットを使った授業に関する質問です。(33)では、「ほぼ毎日」と「週3日以上」の回答を合わせると、ほぼ100%となり、全国平均を大幅に上回っています。(34)の質問でも肯定的な回答が、ほぼ100%となっておりICT機器の利用は、授業の中で日常的なものとなり、定着しています。
- (36) 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
- (37) 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
- (38) 1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
- (39) 1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

令和5年12月22日



くまのみずき

回覧

茅ヶ崎市立北陽中学校 学校だより

第10号

冬休み

後期が始まり2カ月半がたちました。後期より3年生からバトンを引き継いだ2年生が北陽中学校の中心的存在となり、さまざまな活動でリードしてくれています。3年生は進路の面談も終了し、目標達成に向けていつもと違う冬休みを過ごすこととなります。1年生は年が明けると後輩が入学してきますが、立派な先輩として後輩を導けるくらい成長しています。令和5年度卒業証書授与式も令和6年3月12日(火)に決まりました。詳しい日程は、後日お伝えいたします。

本日の全校集会では『辛抱』と『我慢』のお話をしました。

まさに、今日は冬至です。夏至と冬至は、毎年日にちが異なります。2023年の夏至は6月21日で冬至は12月22日です。夏至は、「夏に至る」と書くことからもわかるとおり、「この日を境に本格的な夏になります」という意味です。また、「一年で最も昼の時間が長い日」でもあります。そのことから、太陽の力が最も強まる日ともいわれています。夏至の対となるのが冬至です。冬至は、「一年で最も昼の時間が短い日」。太陽の力が一番弱まる日で、翌日からは再び太陽の力が強まっていきますから、「太陽が生まれ変わる日」とも捉えられています。夏至と冬至の日照時間にはかなりの差があります。2023年の夏至と冬至の日の出・日の入りの時間を比べてみると、札幌、東京、福岡の2023年の夏至と冬至の日の出・日の入りの予測時間を見てみると。

札幌 夏至:日の出3:54 日の入り19:18 冬至:日の出7:03 日の入り16:03 東京 夏至:日の出4:24 日の入り19:00 冬至:日の出6:47 日の入り16:32 福岡 夏至:日の出5:08 日の入り19:32 冬至:日の出7:19 日の入り17:14

夏至と冬至の日照時間を見てもわかるとおり、場所によって夏至と冬至の日照時間は異なります。

さて令和5年は、どんな1年だったのでしょうか。冬休みは、ご家族で過ごす時間が増えると思います。1年を振り返り、じっくりと話をしてお子様の成長を感じていただき、新たな年の夢や目標が決められるとよいと思います。令和5年を終えるにあたり、今年も1年間保護者のみなさま、地域のみなさまには、並々ならぬご支援とご協力をいただきました。誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。新しい年が、みなさまにとりまして素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます。新年もどうぞよろしくお願いいたします。



清掃ボランティア (小出小にて)

様々な行事

11月は様々な行事や会がありました。後期中間テスト(3年生6日~8日、1・2年生30日・12月1日) もありました。主な行事は、

- ○6日 ボランティアの日(2年生・I組)
- ○7日 救命講習会(2年生·I組)
- ○11日 ダンス発表会(2年生)
- ○14日 校外学習(愛川ふれあいの村・1年生)
- ○17日 職場体験(Ⅰ組)
- ○21日 文化発表会·生徒総会
- ○22日 文教大生との交流会([組)

それぞれの学年が、目的意識をしっかりもち、取り組むことができました。



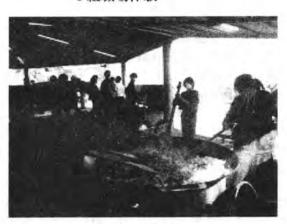
ダンス発表会 (寒川町民センターにて)



文教大学生との交流会

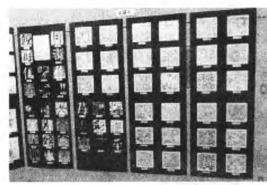


I組職場体験



1年生校外学習

地区美術作品展



学校からのお知らせでお配りしましたが、11月18日 (土)~12月10日(日)まで、茅ヶ崎市美術館において、地区美術作品展が開催されました。145作品が展示されました。各学年のタイトルを紹介します。

○3年生 『15歳の自画像』(23作品)

『細密描画 (2年次制作)』(29作品)

○2年生 『お気に入りのもののデッサン』(31作品)

『寄木細工の入れ物(1年次制作)』(22作品)

○1年生 『絵文字がしゃべりだす』(31作品)

○ I 組 『タイルアートの動物』(9作品)

部活動秋季大会結果報告

○ソフトテニス部

11月5日(日) 秋季県大会個人戦 三ッ沢公園テニスコート会場

三橋・大山ペア

2回戦 対横浜市立平楽中 4-2

3回戦 対小田原市立城山中 4-0

4回戦 対相模原市立大野南中 2-4 ベスト32

11月12日(日) 秋季県大会団体戦 小田原テニスガーデン会場

1回戦 対横須賀市立衣笠中 2-1 勝利

2回戦 対大井町立湘光中 2-1 勝利

準々決勝 対秦野市立秦野西中 0-2 ベスト8

○サッカー部 秋季湘南大会新人戦 大船中会場

12月9日(土) 1回戦 対髙倉中 0-8 敗退